

平成 29 年度 安茂里幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

「園児一人ひとりの自己肯定感を高める」 ～みんなとできる ひとりでできる～

2. 本年度の重点目標

- 【遊びで知育】 ・自分の思いや考えを伝え 思いやりのある 優しい子
- 【育てて食育】 ・好き嫌いなく 夢中になって元気に遊ぶ たくましい子
- 【歩いて体育】 ・自分の目標に向かって、最後まであきらめず 頑張れる子

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
 C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・小規模園で園児一人一人に目が行き届く環境は、園の特色として大切にしてほしい。
- ・安茂里小学校との連携教育ができていてよい。年長さんが実際に小学校の清掃活動や授業の様子を見学したことで、子どもなりに小学校入学への心構えができて、よかった。
- ・幼保小連携のスタートカリキュラム作りの公開保育で、安茂里幼稚園の年長さんがとてもよい姿を見せてくれた。この子たちを安茂里小でどう受け入れ、どう伸ばすのかが、今後の小学校の課題となる。
- ・安茂里地区のアモーレフェスタに参加してくれ、とても喜ばれた。事前の指導は大変だろうが、地域の幼保小中高が集まる場なので、今後も継続して参加してほしい。
- ・子どもの安全確保には、更に力を入れてほしい。想定外の事故が起きることはある。どこで何が起きるか分からないので、園児の安全を第一に優先してほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・安茂里幼稚園の魅力を更に高めるために、「特色ある園づくり」を推進する。全教職員が知恵を出し合い、教育目標の見直しを行い、また、各領域ごとに新年度の新しい活動を計画していく。
- ・保護者アンケートでは園の諸活動に高い評価をいただき、また園公開等では新規の参加者もありながら、新入園児の獲得の実績にはつながりにくかった。PR活動には更に工夫が必要である。
- ・新幼稚園教育要領実施に備えて「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を志向し、保育活動の改善に向けて、園内の研修を更に活発化し、保育研究の深化を図っていく。